

2011介護フォーラム

5月28日(土)、ラパスホール(東京労働会館内)で「介護保険制度『改正』と地域主権改革」をテーマに、2011介護フォーラムが行われました。

安達智則氏の基調講演「地域主権改革は、自助と共助の地域社会づくりをめざす」をはじめ、訪問介護と小規模多機能居宅介護の事業所からの報告がありました。安達氏からは、介護保険も含めた社会保障について地域主権改革がすすめられているという話がありました。要は、地域のことは地域に住む住民が、責任を持って決めることのできる地域社会をつくることだそうですが、国の財政負担義務を緩和して地方財政への転換をねらっています。介護保険でいえば、予防給付の人たちを介護保険から外し、有償ボランティア(ヘルパー)の資格のない人たちなどで、安い時給で賄おうとしています。

また、保険料の徴収年齢を下げて(案)、どんだん国民への負担を増やそうしています。自助(自分の責任で自分自身が行うこと)や共助(自分で解決できないことは周

多機能居宅介護は、利用単位が大きく他のサービスが受けづらいう現状や、1人の利用者の利用回数が多くなると事業所の経営が悪化していく矛盾も生じており、大変な状況が伝わってきました。改正になってからでは遅いので、今から行政や集会所などで訴えていかないと、また、改悪になってしまいます。利用者さん、事業所、ヘルパー、それぞれの立場で頑張っていかなければならないと痛感しました。(ヘルパーステーション 川居直美 すずらん馬込)

ヘルパーステーションすずらん「かがやき事例」その5

今回は2つの事例を紹介します。

話を聞き、信頼関係を築く

昨年8月に奥様を亡くされたことで、喪失感が強くなっていました。この方は介護保険を利用しながら「早く元気になる」とのこと。8月から訪問をスタートしました。しかし、1回だけの訪問で、持病で

ある躁うつ病になつてしまい入院されました。4カ月の入院治療を終え、12月末より訪問を再スタートしました。週3日訪問しましたが、最初は口数も少なく、話す内容は、入院していた頃のことと奥様がつくられた和紙の貼り絵を見ながらの思い出話がほとんどでした。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。



ヘルパー研修の様子

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

自立した心に寄り添う

昨年6月、末期のがんで、余命半年の宣告を受けられました。しかし、ご家族の雰囲気には悲壮感はなく明るい印象でした。この方は緩和病棟も含め、死を迎える準備はできており、気持ちにけじめをつけておられました。人生最後の準備を整え、その日待つ姿勢に感銘を受けました。

その後、少しずつ回復され現在はご家族の洗濯と週1回の買い物(荷物はヘルパーがとりに行く)をされています。決して治っているわけではありませ

が、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

訪問を続けるうちに自宅で生活も順調になっていきました。今年の2月頃には、室内は杖なしで歩行できるようになりました。そして、ヘルパーが訪問する前には散歩に出かけ、愛用のカメラで野鳥を撮り、それを自慢気に見せてくれるようになりました。また、好きな開募ができる施設へ見学に行くことなど生活が前向きになっていきました。こうした結果が出るとヘルパーとしての喜びを感じることが出来ます。

ケアの内容は生活援助ですが、話をよく聞き、信頼関係を築きながら、自立への視点を持ち働きかけていきました。

介護の相談は、城南保健生協
ヘルパーステーションすずらんまで

*ヘルパーさんも募集中です。ぜひ一緒に働きませんか

03-3762-0106
すずらん本部までお気軽に問い合わせください

『薬剤師 急募中！ 薬剤師さんをご紹介ください』

地域医療をまもる薬局 (株)城南医薬保健協働

(URL) <http://jyounaniyaku.co.jp/> (メール) jyounaniyaku@mte.biglobe.ne.jp

本 部	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.3298-2421 / fax.3298-2422
大 森 薬 局	〒143-0014	大田区大森中1-22-1	tel.3298-4901 / fax.3298-4904
み つ ぎ 薬 局	〒141-0033	品川区西品川2-6-4	tel.3493-1493 / fax.5434-8747
う の き 薬 局	〒146-0091	大田区鶴の木2-2-9	tel.5482-8931 / fax.5482-8933
目 黒 本 町 薬 局	〒152-0002	目黒区目黒本町6-6-5	tel.5720-5048 / fax.5720-5049
東 六 郷 1 丁 目 薬 局	〒144-0046	大田区東六郷1-24-16	tel.5714-4193 / fax.5714-4194
上 目 黒 4 丁 目 薬 局	〒153-0051	目黒区上目黒4-21-9	tel.5724-4193 / fax.5724-4198
介 護 シ ョ ッ プ ら く だ	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.5762-8568 / fax.5762-8569
福 祉 タ ク シ ー ら く だ			
本 社 営 業 所	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.3763-0204 / fax.5762-8569
久 が 原 営 業 所	〒146-0081	大田区仲池上2-30-16	tel.5747-3870 / fax.5747-3871

福祉タクシー らくだ

タクシー運賃・料金は普通タクシーと同じ初乗運賃710円です。福祉タクシー「らくだ」は、車いすに乗ったまま、安全運転でお送りいたします。付き添いの方も3人までお乗りいただけます。

寝台車両の運賃は国土交通省認可料金です。
(各営業所へお問い合わせください)

営業時間 午前7時～午後7時
受付 午前9時～午後5時
年中無休

本社営業所
TEL 3763-0204 FAX 5762-8569
久が原営業所
TEL 5747-3870 FAX 5747-3871

